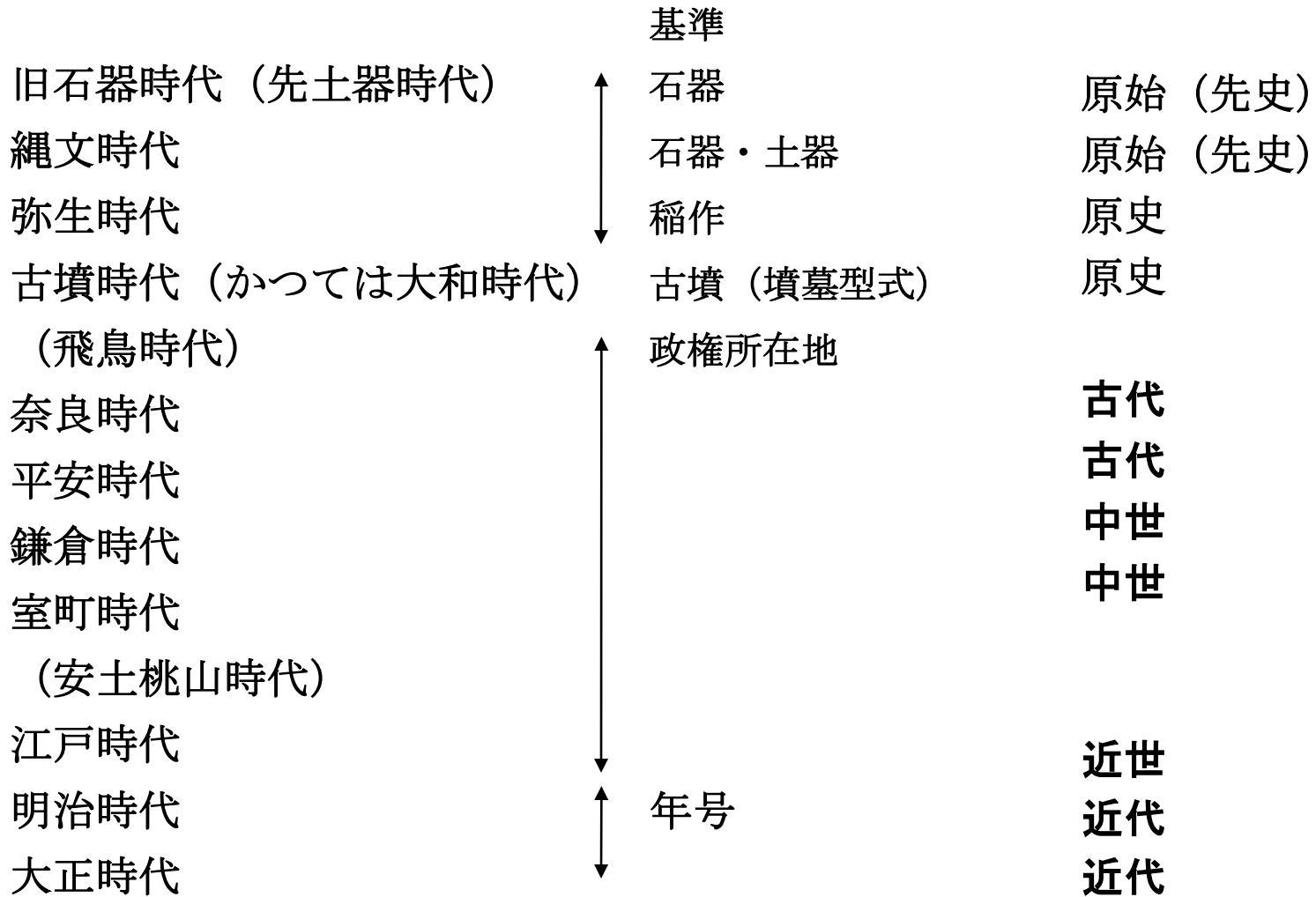


• 日本の時代区分



ヨーロッパ

旧石器時代
（中石器時代）
新石器時代
青銅器時代
初期鉄器時代
（このあたりからローマの属州）
鉄器時代あるいは個別国家名

韓国

旧石器時代
新石器時代
青銅器時代
初期鉄器時代
（原三国時代）
三国時代
統一新羅

中国

旧石器時代
氏族制社会（新石器時代）
奴隸制社会（青銅器時代、
夏～殷周王朝）
古代国家（戦国～秦漢帝国）

ソ連（当時）

前階級社会
群社会（前氏族社会）
氏族社会
氏族崩壊社会（農業共同体）
階級社会
奴隸所有的社会
封建社会
資本主義社会
社会主義社会

19世紀前半
三時代区分法の成立
(C. トムゼン)
石器時代
青銅器時代
鉄器時代
材質による区分



J. ラボックによる改良 (19世紀半ば)
石器時代
旧石器時代：狩猟採集
新石器時代：農耕牧畜
青銅器時代
鉄器時代

19世紀後半F.エンゲルス『家族、私有財産、国家の起源』

I. 野蛮

1. 低段階：熱帯～亜熱帯で森林生活、果実・堅果・草木根が食料
音節が分かれた言語の形成
2. 中段階：魚介類の採捕と火の使用を以て開始。世界中に展開
3. 高段階：弓矢の発明→獣肉が日常の食料に
高度の技術→同時に多くの発明を伴う
ex) 定着，木器，箆，磨製石器，丸木舟，板，織物

II. 未開

1. 低段階：土器の採用
2. 中段階：旧大陸→家畜の訓致
新大陸→感慨による植物栽培，日乾レンガ，石造建築
3. 高段階：鉄鋌の溶解を以て始まる．表音文字，文書記録への利用，
家父長制家族，私的所有の開始

III. 文明：国家、官僚制

・バンド社会

狩猟・採集→旧石器に相当

血縁者群に任意に付随する他人→外婚単位

バンドのサイズ→25～100人以上

移動性高い

社会統合はバンドレベルで

・部族社会

人口増加→社会規模の増大→外婚バンドでは対応できず

定住化→領域性も高まる

クランの統合体として部族

リーダー→個人的カリスマ、特定の目的に対応

神話、祭礼などによって部族の統合

・首長制社会

人口密度高い

生産力の増大→生産の特殊化

統制センターからの生産品再分配

リーダー→調節者から最大の貢献者→再分配者→威信の獲得→地位の保持

→公職化

首長の下にサブ・チーフ……→ピラミッド形の地位の構造

首長リネージの拡大→不平等社会(クランの形態をとる)

・官僚制国家社会